

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	月組（5歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

味噌

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
毎月食育をしている当園の特徴を活かし、日頃口にする機会の多い味噌をテーマに設定した。給食の献立や食育活動を通して食材に興味を持つ姿が多くなったことから、身近な食べ物が何から出来ているのか、どのように作られているかなど、子ども達の探究心を深めていく為に行う。

2. 活動スケジュール

令和7年10月～令和8年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
月組保育室にて、グループごとにテーブルと椅子を配置して、子ども達同士が味噌づくりに参加できるように配置設定。準備したものは大豆、米麴、塩、調理器具。

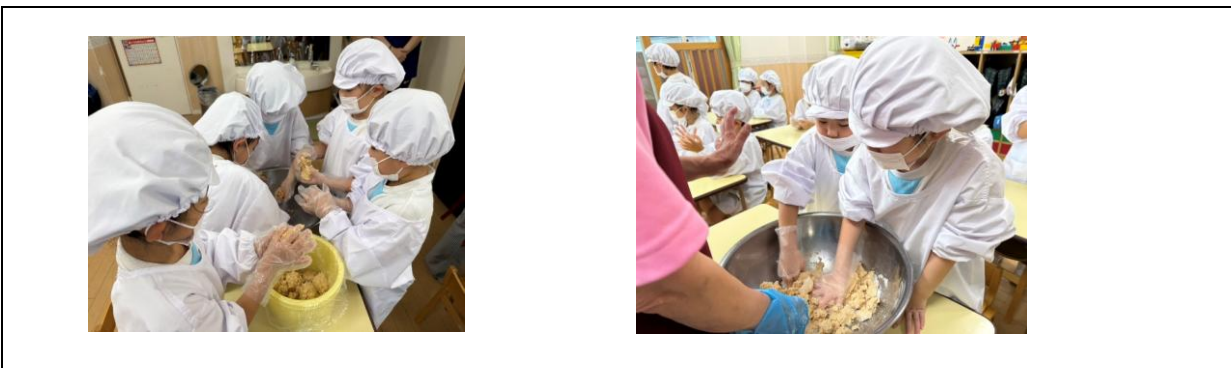
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

10月1日(水)（導入）
・味噌づくり

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
調理員の説明を聞きながら実際に売られているみそとは形が違うことに驚く姿があった。豆をつぶしたり、匂いを嗅いだりなど五感を使って活動を進める様子が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

売られている味噌とは形が違い、味噌の原型を知ることができどのように味噌が作られているのかが知ることが出来た。また、時間をかけて作るため、次はどのような形や色になっているのか次回に期待を膨らませている姿もあった。普段食べているものがどのようにできているのか、どのようにみんなが知っている味噌の形になっていくのか学ぶことができたことで、子どもたちの食への興味も広がったのではないかと感じた。

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	月組（5歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

味噌

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
毎月食育をしている当園の特徴を活かし、日頃口にする機会の多い味噌をテーマに設定した。給食の献立や食育活動を通して食材に興味を持つ姿が多くなったことから、身近な食べ物が何から出来ているのか、どのように作られているかなど、子ども達の探究心を深めていく為に行う。

2. 活動スケジュール

令和7年10月～令和8年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
2つの生活グループに分かれてグループごとに1台のタブレット端末(iPad)を使用した。

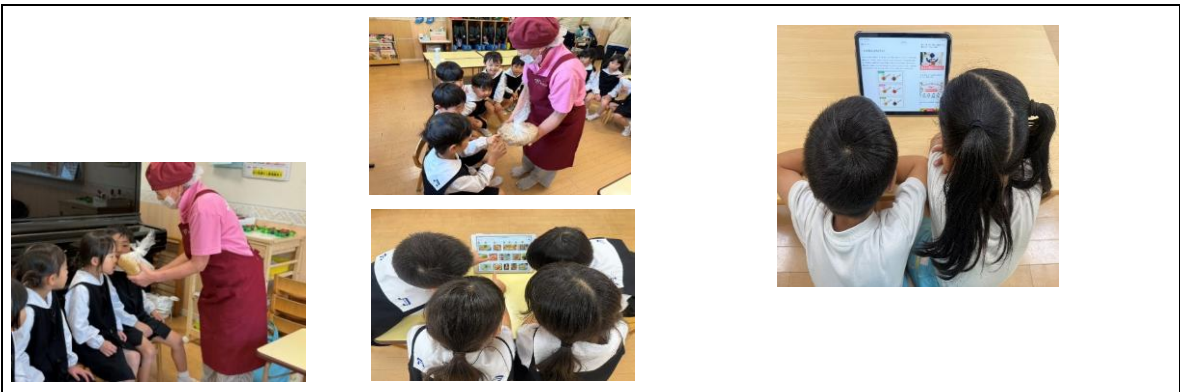
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

12月26日(金) (分析・調査)
・味噌の発酵具合の確認と色や香りの変化を知る。
・iPadを用いて味噌を使った料理を調べる

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
前回(2か月前)、作った味噌の様子を子ども達と確認した。樽の蓋を開けた段階から味噌の香りがすることに子ども達が気づき、作った時との色の違いや麴の粒が減っている事にも気付いていた。調理員の話聞きながら「発酵」という事にもより興味を持っていた。作った味噌を3月にみんなで食べるという話から、味噌を使った料理にはどんな物があるかという声が子ども達からあがり、iPadで味噌の種類や味噌料理を調べた。みそ汁やみそ煮込みうどんなど子ども達から「食べたことがある」と声のあがる料理もあれば、五平餅を見て「おやつで出た事がある」と言う声もあった。その中で、普段給食で食べる機会の多いみそ汁をみんなで作ってみたいという意見が多数だった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

10月の頃よりも目に見えて色が変わっていることや香り、ビニールの上から触った時の感触など五感を使って変化を感じていた。「味噌」というテーマからタブレット端末を使い味噌の種類や料理を調べてみようという方向に発展していったのは面白いと感じた。このようなツールがあることで疑問に思った事、知りたい事をすぐに調べる事ができ、そこから子ども同士のやり取りや会話が発展していき、「次はこれについて」と興味を広がっていく様子があった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	月組（5歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

味噌

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
毎月食育をしている当園の特徴を活かし、日頃口にする機会が多い味噌をテーマに設定した。給食の献立や食育活動を通して食材に興味を持つ姿が多くなったことから、身近な食べ物が何から出来ているのか、どのように作られているかなど、子ども達の探究心を深めていく為に行う。

2. 活動スケジュール

令和7年10月～令和8年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
タブレット端末(iPhone)、みそ汁が作れるように机とIHクッキングヒーターを用意し、子ども達が料理の様子をわかるように配置した。作った味噌を食べる為、細菌検査を行った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

3月30日(月) (実践)

- ・味噌の実食
- ・みそ汁を作る

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
10月に作った味噌の実食を心待ちにしていた様子の子供達は、味噌を一口食べてみると「しょっぱい」「おいしい」「粒がある」など感想を述べていた。味だけでなく口に入れた時の舌ざわりなども気にする様子が見られた。味噌の味見をした後、調理員と一緒にみそ汁作りをした。味噌をときながら色の変化や温まる事で「いい匂いがする」と香りの変化に気付く子どももいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

身近な食材である味噌がどんな食材から出来ているのかを知ると共に、味噌ができるまでの過程に興味をもち、約5ヵ月かけて一つの物が完成する経験は貴重だったと思う。味噌ができていく中でどうなっていくのかを考えたり想像したりする姿から子ども達の関心の深まりを感じた。自分たちの作った味噌でみそ汁を作り、そのみそ汁を他のクラスの園児にも食べてもらい、「美味しかったよ」という声をもらえた事で、クラス内で終わるのではなく、園全体で共有できたことも良かった。